

社団法人日本技術士会 平成 23 年度応用理学部会第十回総会議事録

日時：平成 23 年 5 月 17 日（火） 17：00～17：50

場所：葺手第二ビル 5 階 AB 会議室

出席：出席者 31 名、委任状 182 名 合計 213 名

総会の成立定数は 85 名（平成 23 年 5 月 16 日現在：合計会員数 850 名の 1 / 10）

出席者は以上のとおりであるので、第十回総会は成立した。

1. 議事次第

(1) 議長および議事録担当選出

(2) 議事

1 号議案：平成 22 年度事業報告、収支決算報告及び監査報告

2 号議案：平成 23 年度事業計画案及び収支予算案

3 号議案：役員改選

その他意見交換

2. 配布資料内容

(1) 1 号議案 平成 22 年度事業報告・収支決算報告及び監査報告

1) 平成 22 年度事業報告書（部会活動報告） 見学会及び資源工学部会共催講演会

2) 平成 22 年度収支決算書（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

3) 監査報告書

(2) 2 号議案 平成 23 年度事業計画案及び収支予算案

1) 平成 23 年度事業計画（案）

2) 平成 23 年度収支予算書（案）（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

(3) 3 号議案 役員改選

1) 幹事会からの部会長推薦起案

2) 平成 23 年度委員会委員候補者推薦のための資料

3. 議長および議事録担当選出（司会 松田益義副部会長）

(1) 第十回総会の議長として、柴田悟応用理学部会長が選出された。

(2) 議事録担当として、原眞一幹事と山本康隆幹事が選出された。

4. 議事

(1) 1 号議案（平成 22 年度事業報告、収支決算報告及び監査報告の承認）について

1) 柴田悟議長より事業報告、潮幹事より収支決算報告が行われた。

2) 会計監査人（宮島慎幹事世話役）より会計監査結果の報告が行われた。

3) 1 号議案は、全会一致で原案通り承認された。

(2) 2 号議案（平成 23 年度事業計画及び収支予算案の承認）について

- 1) 柴田悟議長より平成23年度の事業計画案、潮幹事より平成23年度収支予算案の説明が行われた。(p4 参照)
- 2) 年4回、3の倍数月(3月、6月、9月、12月)の部会は土曜日に開催する。
これは、平日にはなかなか参加することができないという、比較的若い企業内技術士、技術士補の会員の要望に応えるものである
- 3) 部会の地方展開を検討している。具体案として、
 - ①Web会議を利用した各支部と双方向で意見を出せる形での定例会の開催
 - ②支部の幹事の方に来ていただき、話をしてもらうといったものが挙げられる。

(3) 3号議案(役員を選任)について

- 1) 現部会長柴田悟氏は平成23年5月をもって任期が終了となる。新たに部会長を選任する必要がある。松田益義副部会長より、役員(部会長)選任にあたり候補者を募集したが、立候補締め切り(5月13日18時)まで「応募者なし」との報告があった。
- 2) 応用理学部会の部会長として、柴田悟部会長の継続が幹事会から推薦された。
- 3) 3号議案は、全会一致で幹事会推薦案通り承認された。
- 4) 新幹事並びに応用理学部会から推薦する委員会委員は今後部会長が個別に決定する。

(4) その他意見交換について

- 1) 宮島慎幹事より、委任状を提出いただいた人からの意見の発表があった。
紹介例
 - ・ 地方都市でも講演会を、地方サービスの充実
 - ・ 会員外への発言が不足
 - ・ 地方の自治体等への提言
 - ・ 土曜日例会開催への支持
- 2) 会場内での意見交換では以下の発言があった。
 - ・ 会費に対し会員サービスが低い。特に地方のサービス水準格差解消が必要
 - ・ サービスは他の部会でも十分でない。
 - ・ Web会議は今期中に2支部くらい実現したい(部会長)
 - ・ 会員になったらできるだけ参加して活用して欲しい。
 - ・ 公益社団法人になったので、社会との連携を図る技術士が求められている

(町田理事)

以上

(記録 山本康隆、原 眞一)